パレット導入状況に関する 定点観測調査の結果報告



令和4年3月31日 農林水産省 大臣官房 新事業·食品産業部 食品流通課

1. パレット導入の定点観測調査(大田市場)

○調査対象:搬入トラックのパレット積み(木製、プラスチック)、バラ積みの状況

○調査方法:目視

○調査日時

·第1回目:令和4年1月19日(水)14:00~17:00 ·第2回目:令和4年1月27日(木)14:00~17:00

○調査人数:4名(農水省職員)







2. パレット導入の定点観測調査



3. パレット導入の定点観測調査の結果(その①)

○観測したトラック台数

第1回目: 67台(野菜49、果実14、混合4)第2回目: 109台(野菜88、果実19、混合2)

弗1四日							
	野菜	果実	野菜·果実	総計			
茨城	7			7			
千葉	7			7			
長崎	4		2	6			
福岡	4	2		6			
熊本	2	3		5			
神奈川	5			5			
佐賀	1	2		3			
愛知	2						
宮崎	1		1	2			
香川	2						
青森		2		2			
栃木		1	1				
北海道	2			2			
愛媛		1		1			
群馬	1			1			
埼玉	1			1			
山梨	1			1			
鹿児島	1			1			
静岡	1			1			
大分		1		1			
長野	1			1			
不明	6	2		8			
総計	49	14	4	67			

给1回日

	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #							
	野菜	果実	野菜·果実	総計				
熊本	9	5		14				
北海道	12			12				
福岡	7	2	2	11				
茨城	9			9				
千葉	8			8				
香川	7			7				
宮崎	5			5				
神奈川	5			5				
愛媛		4		4				
高知	4			4				
鹿児島	4			4				
静岡	1	3		4				
長野	4			4				
埼玉	3			3				
長崎	2	1		3				
徳島	3			3				
佐賀	1	1		2				
大分	1	1		2				
和歌山		2		2				
群馬	1			1				
福島	1			1				
不明	1			1				
総計	88	19	2	109				

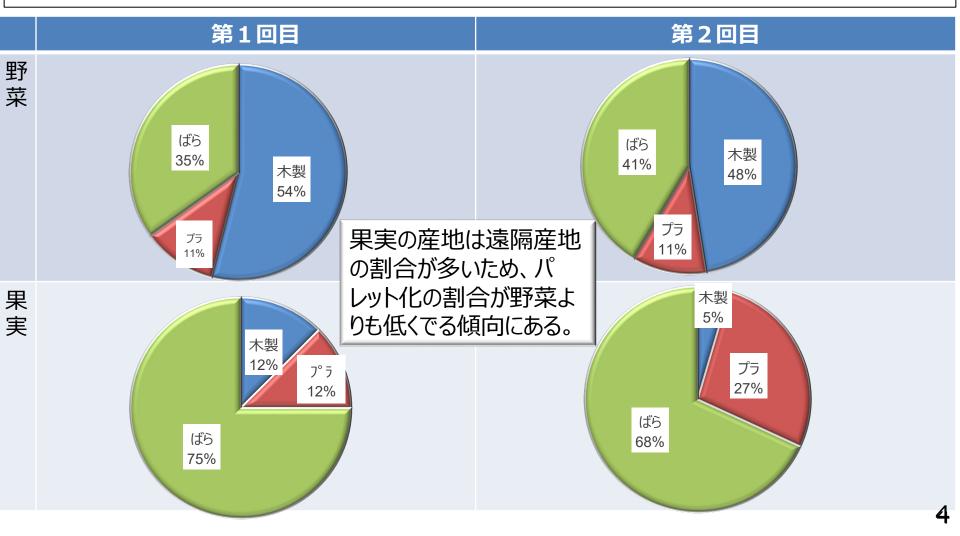
第2回目

3. パレット導入の定点観測調査の結果(その②)

〇野菜と果実のパレット化率

・第1回目:野菜65%(木54.0%、プラ11.0%)、果実25%(木12.5%、プラ12.5%)

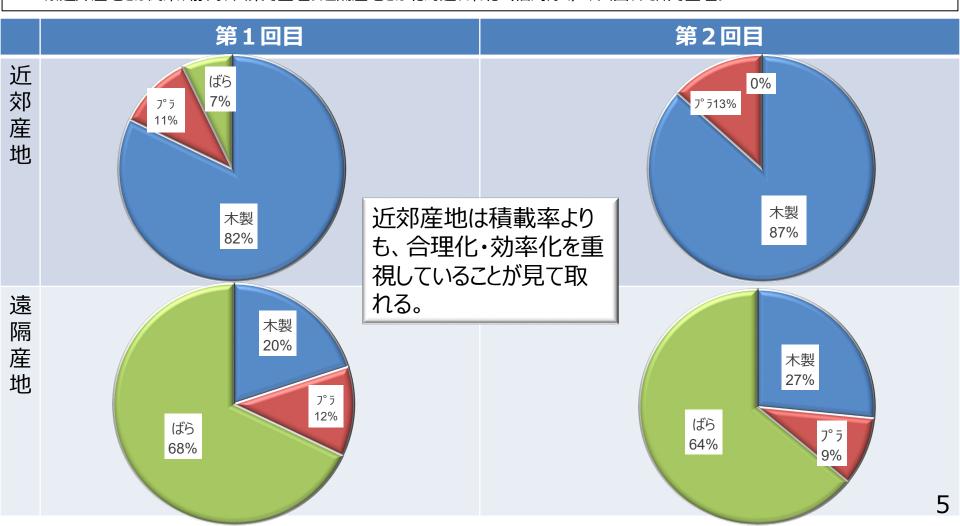
・第2回目:野菜59%(木47.5%、プラ11.1%)、果実32%(木4.5%、プラ27.3%)



3. パレット導入の定点観測調査の結果(その③)

〇野菜の近郊産地と遠隔産地のパレット化率

- ・第1回目:近郊93%(木82.1%、プラ10.7%)、遠隔32%(木20.0%、プラ12.0%)
- ・第2回目:近郊100%(木86.7%、プラ13.3%)、遠隔36%(木26.6%、プラ9.4%)
- ※近郊産地とは関東、静岡、山梨で整理。遠隔産地とは北海道、東北(福島除く)、四国、九州で整理。



4. 観測調査で確認できたこと(その①)

○荷捌き場には東京青果㈱のナビゲーターが待機しており、搬入トラックのドライバーから聴き取り等した情報(積載品目、パレット積みか、産地、ドライバーの連絡先等)を基に、おおよその荷下ろし場所を指示している。当該ナビゲーターからの聴き取りによると、前述の情報は商品センター庶務課へ渡し、データ入力がされているのではないかとのことであった。

例えば、積み荷が葉物であれば荷捌き場のガソリンスタンド側の周辺、パレット積みされていないものは荷下ろしに時間がかかるため道路の反対側、相対で直ぐに仲卸等に渡す必要があるものには青果棟の中など指示している。ただし、荷物が溢れ所狭しの状況になってきた場合には柔軟な荷下ろしを行っている。

- ○パレット積みされた荷物の荷下ろしは、基本的には東京青果の従業員がフォークリフトを操作して行うが、特定のドライバーは自分でフォークリフトを借りて荷下ろしている。 ばら積みの荷下ろしは、ドライバーが自ら行っている。
- ○大田市場の入荷量は、同市場のキャパシティを3割程度超過している状態。
- ○今般の目視調査は、トラックの位置・向きに応じて移動しながら観測を行う必要があった。その際、トラックの往来が頻繁であるため注意しながら移動する必要があった。
- ○今般の目視調査は、荷捌き場で 3 時間超観測していたことから、作業員には事故が起こらないように幾らか神経を使わせてしまった可能性がある。

6

4. 観測調査で確認できたこと(その②)

- ○ブロッコリーを入れた発泡スチロールが重みで潰れてしまい、せっかくパレット積みをしていても手降ろしをしていたケースがあった。
- ○オリコンをトラックに積んでも滑るので、パレット積みでなくてもダンボールに比べて移動しやすい。
- ○三甲リースのRFID付きレンタルパレットは、出荷者からパレットの積み替え依頼を受けているため、クランプフォークリフトで積み替え。三ヶ日みかんは特に多い。
- 積み替えにあたっては、クランプフォークリフトと積み替え用のパレットをのせたフォークリフトを使用して行っており、多少手間がかかるように見えた。
- J R コンテナは、パレット積みをすると隙間ができるため、ばら積みが多い。
- ○異なる産地の青果物を混載しているため、パレットとばらが混在するものがある。